

マンガ表現 プロの技体験

湯前的小中学校で授業



昭和に活躍した政治風刺漫画家、那須良輔（1913〜89）が生まれた湯前町の小中学校で、マンガの授業が毎年1回行われて

いる。郷土教育の一環として町が続けており、今年は崇城大学芸術学部デザイン学科でマンガの研究・教育を担当する小川剛・

実技に取り組む中学3年の生徒たち＝湯前町立湯前中学校
准教授（39）が講師を務めた。

7月31日に湯前中学校1年と3年、湯前小学校4年の授業があった。中学3年の授業では、小川さんが日本と外国のマンガの違いやマンガ特有の表現などを説明。実技もあり、23人の生徒はマンガ家が使うのと同じ画材で髪の毛を塗ったり、動きや感情を表すための線などを描いたりした。みな真剣な表情で取り組んでいた。

小川さんは「子どもたちは今まで何げなく読んでいたマンガが実際にどう作られるか直接体験すること、読み方が違ってくる」と授業がもたらす効果を話した。